

## 今週（8月2日から8月6日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、ビッドサイドの堅調な調達意欲から、しっかりとした地合いが継続した。週後半にかけては、オファーサイドの減少もあり、強含む展開となった。無担保コールO/Nは、邦銀を中心に▲0.060～▲0.015%のレンジでの出会い。週初2日のO/N加重平均レートは▲0.043%。積み期後半に入ったこともあり、ビッドサイドの調達意欲は底堅く、3日▲0.041%、4日▲0.039%と日を追うごとに緩やかに上昇した。5日はオファーサイドの運用金額の減少を背景として、一部にビッド水準を切り上げる先も見られ、加重平均レートは▲0.030%となった。6日は週末4日積みにあたる為、取り上がる動きが拡大し、レートは上昇した。ターム物に関しては、期内物のショートタームで引き合いが散見された。日銀当座預金残高は週前半から530兆円台後半で推移していたが、4日の法人税・年金保険料揚げの影響から週末にかけては520兆円台後半で推移した。

### ●レポ市場

今週のGC T/Nは、▲0.085～▲0.075%出会いと先週並みの極めて狭いレンジで推移した。週初2日のT/Nは▲0.085～▲0.075%の出会い。3～5日は、短国買入オペや国債買入オペをこなしつつ、▲0.085～▲0.075%の出会いと横ばい圏で推移した。6日のT/Nは、受渡に短国3M物と6M物の発行が重なることから▲0.08～▲0.07%出会いとレートが上昇する展開となった。

SCIについては、2y418～427、5y140～148、10y349～362、20y174～177、30y70～71、40y13～14 などカレント銘柄を中心にビッドが多くみられた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、比較的良好な需給環境が続く中、レートは先週比おおむね横ばい圏で推移した。

3日に行われた短国買入オペは5,000億円度でオファーされた。前回の10,000億円からオファー額が減額となる中、やや弱めの結果となった。

5日に実施された6M物の入札は無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。

6日に実施された3M物の入札は、前回入札から発行額が減額（53,000→50,000億円）となる中、しっかりとした結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。

### ●CP市場

CP市場は、8月に入ってから償還の到来が少ないことや、緊急事態宣言中であること等から、発行件数が少なく閑散とした1週間であった。発行残高は、良好な発行環境を反映して25兆3,000億円程度と高水準を維持している。前年8月は、新型コロナへの備えから手元の流動性を厚く保つ動きが見られており、前年8月末の発行残高が25兆6,354億円であった事を考えると、業態ごとの増減にはバラつきがあるものの、ここから発行残高が伸びる可能性も考えられる。発行レートは、残高が少ない銘柄については、引き続き深いマイナス圏で推移している。それ以外については、銘柄によるばらつきが大きいものの、概ねゼロから多少のマイナスでの推移となっている。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/2 (月)	27,781.02	0.015	109.64	△ 0.043	△ 0.085	5,373,300
8/3 (火)	27,641.83	0.005	109.30	△ 0.041	△ 0.085	5,356,200
8/4 (水)	27,584.08	0.000	109.04	△ 0.039	△ 0.085	5,281,200
8/5 (木)	27,728.12	0.005	109.65	△ 0.030	△ 0.081	5,292,900
8/6 (金)	27,820.04	0.010	109.87	△ 0.028	△ 0.077	5,293,100

# 来週（8月10日から8月13日）の短期金融市場動向

## ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/9 (月)	振替休日				
8/10 (火)	6月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 6月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 7月の景気ウォッチャー調査(内閣府)				
8/11 (水)	7月のマネーストック(日銀 8:50)	30Y 9,000億円 8/12発行	エネルギー 対策借入 6,500億円 8/20借入		7月の米財政収支 7月の米消費者物価指数
8/12 (木)	7月の企業物価指数(日銀 8:50)				7月の米生産者物価指数 4-6月期の英GDP速報値
8/13 (金)		TB3M 50,000億円 8/16発行	流動性供給 5,000億円 8/16発行	国有林野借入 960億円 8/25借入	8月のミシガン大消費者信頼感指数速報

## ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/9 (月)	振替休日								
8/10 (火)	200	200	400	CP買入 国債補完	▲ 300 100		▲ 200	200	TB3M発行▲50000償還65000 TB6M発行▲34000償還23900
8/11 (水)	0	▲ 3,000	▲ 3,000	社債買入		1,300	1,300	▲ 1,700	
8/12 (木)	0	▲ 9,000	▲ 9,000				0	▲ 9,000	社会保障費 源泉所得税揚げ 30Y発行▲9000
8/13 (金)	0	74,000	74,000				0	74,000	年金定時払い 交付税借入▲11000期日10000
週間合計	200	62,200	62,400	—	▲ 200	1,300	1,100	63,500	

8/10は日銀予想、8/11以降は当社予想

## ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積み最終週にあたり、大手行を中心としたビッドサイドの動向が注目される。レポ市場は、GC T/Nは積み終盤を控えてオファーサイドの資金調達ニーズが高まる可能性もあり、▲0.085～▲0.065%程度での推移が予想される。短国市場は、13日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。また、11日に実施が予想される短国買入オペのオファー額にも注目したい。CP市場は、13日にCP等買入オペが5,000億円が予定されている。足元での入札案件が少ない中、当日のオファー金額を含め、動向が注目される。

主要なイベントは、海外では11日に7月の米消費者物価指数、12日に4-6月期の英GDP速報値が予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまよう願ひ申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。